

広報

# ただみ

7  
2011 月号  
No. 488  
平成23年1月10日

## 新年あけまして おめでとうございませ 只見スキー場



### 今月の表紙

正月の歓迎イベントが只見スキー場で1日と2日に催され、町内外から大勢の方々が訪れ、にぎわいを見せた。親子そり乗り大会、ビンゴゲーム、スノーモービル体験などなど。ゲレンデやレストランでは楽しそうな笑い声がこだましていた。

### 只見町長・議会議長

年頭のごあいさつ	2~3
「只見町地域計画」に答申	4~5
民生児童委員が新たに委嘱	6~7
叙勲伝達式 他	8~9
町の話題	10~11



# 年頭のごあいさつ

New Year's greetings



## 自然首都・只見にふさわしい町づくり

只見町長 目黒 吉久

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましてはつつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、ギリシャの財政破綻からドル安、円高の流れとなり追加経済政策も効果が上がり、今もって国民生活は厳しい状況にあります。加えて参議院選における民主党の大敗を機に国政は混迷を呈し、外交、防衛領土問題も浮上り社会不安が増大した年でありました。

気候の変動も厳しい一年で、本町においても町民生活はもとより農業や野生動物にも大きな影響を与えました。

農作物においては、品質低下と収量減少を招き、米価下落も重なり稲作農家にとっては大きな打撃となりましたが、トマト・花卉においては高単価に支えられ生産額の向上につながったことは幸いでした。

地元誘致企業におかれては、今なお円高による厳しい環境の

中にありますが、通常の生産体制に戻りつつあることは本当にうれしいことでもあります。

さてグローバル化の進む中、只見町の明るい未来への展望は自然、歴史、文化、暮らし、産業などの地域特性を活かしたローカル色を打ち出し地域としての価値を築き上げてゆくことが大切だと考えます。

そのためには集落の高齢化、人口減少をふまえて地域の担い手、新規就農者の確保など、定住促進対策とみんなの知恵が結集できる場づくりや町外の多様な人たちの参加、協力が得られるネットワーク作りが大切であり、自然首都・只見にふさわしい農・商・工・観光の連鎖を引き起こす仕組み作りと地域ブランドの確立が必要であります。

「ただみブナと川のミュージアム」は予想以上にたくさんの方に来館いただきました。国内最大級のブナの原生林を持つ只見からの情報発信基地として機能充実を図ってまいります。観

光まちづくり協会も昨年より一般社団法人となり旅行業務ができるようになりました。

農家民泊の取り組みも着実に進み評価を得ております。本町の豊かな自然を活かした地域密着型の人・観光交流施設・資源の連携を深めさらなる集客力の向上を図ってまいります。

次に保健、医療、福祉の充実ですが、引き続き関係機関の連携による地域包括支援システムの構築を推進してまいります。今年度からは地域リハビリの活動にも期待しながら、常勤医師三人体制の堅持と少子化、子育て支援として中学校卒業までの医療費助成や、若者たちの出会いの場づくりにも力を入れてまいります。

さらには自然首都・只見にふさわしい人づくり教育を推進し、本町の豊かな自然を活かしながら、逞しい精神と身体を備え、将来における自己実現を達成できる力を持った只見っ子の育成と、「地域人材育成事業」

や「只見学推進事業」を通して子供達から大人まで地域力と文化力の向上につなげてゆきたいと考えております。

昨年、役場庁舎、只見総合開発センター及び旧只見中学校三施設の活用について基本的な方向性の答申を頂きました。今年度は将来に向けた地域整備計画になるよう、住民の皆さんの意見を頂きながら進めてゆくこととなります。

町長に就任して二年が過ぎました。時の速さと成せることの少なさに、我が身を引き締め町民の皆様から負託された事業の実現のために全力を傾注して参る所存でありますので町民各位のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに平成二十三年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



## 地方の時代を目指して

只見町議会議長 五十嵐 拓

新年明けましておめでとうございます。只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年の国内外に目を向けますとギリシャの財政危機は世界的な株安、ユーロ・米ドルの下落に伴い円高が進む状況となり、産業の空洞化による国内雇用に大きな影響を与えております。

しかし、依然として原油の高騰は続き、世界の政治・経済は今なお混沌としております。

自然災害も頻発しており中部の地震は甚大な被害となりましたが、鉱山落盤事故では全員の無事救出報道に世界の人々と共に安堵いたしました。

我が国においては、「地域主権」の確立を「一丁目一番地」とする鳩山内閣が誕生から一年を待たずして、菅政権に交替す

ることとなり、さらに、7月参議院選挙では民主党に厳しい結果となり政治のねじれ現象が再びおきることとなりました。

さて、春からの気温不安定に続き、過去最高となった全国的な猛暑は、本町においても町民生活に多くの影響を与えることになりました。特に振興作物の稲作の品質低下を招き、米価の下落と併せて稲作農家には厳しい現状となりました。世界情勢にあるTPP問題にも対応のできる足腰の強い重点施策が求められています。

町政においては、昨年、福島県から副町長を迎え、地域計画や組織改革並びに住民協働によるまちづくりの推進が図られています。また、近隣五町村による「奥会津振興センター」の発足は、流域の活性化に大きな期待が寄せられています。

町は、住民が安心して生活ができる環境整備の一つとして、医療と福祉の里づくりに取り組ま

みを強めてきました。課題は少なくありませんが、確実に安定と充実が図られていると考えております。

農家民泊事業が二年目に入り千葉・東京など首都圏から児童生徒が訪れ体験農業と交流が進められています。また、新規参入業者の高木ご夫妻が第51回福島県農業賞新規就農部門で受賞されました。今後、さらに参入しやすい環境整備が重要になります。

11月、八十里越え九号トンネルが貫通し、全線開通に一步一歩近づいており、只見高校生の自転車による全線踏破や民間団体・企業・行政が協力連携し、早期開通に向けて要望活動を展開しております。

さて、本町も長引く景気低迷と少子高齢化社会など多くの課題に直面しておりますが、議会としての責任と役割を深く認識し、健康で安心して生活できる町づくりに取り組んで参ります。

す。

昨年の12月定例会で、「議会改革推進特別委員会」を設置いたしました。「通年議会の実施」「議会基本条例の制定」等、地方の時代を目指して開かれた議会の推進に努めてまいります。町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、より実り多き年となりますことを祈念いたします。新年のご挨拶といたします。



# 只見町

## 地域計画

### に答申



▲目黒町長(右)に答申する菅家俊一只見町地域計画審議会議長(左)

平成22年11月10日付けで諮問をしていた「只見町地域計画」について、12月8日、菅家俊一只見町地域計画審議会議長より答申があり、目黒町長に手渡されました。その内容は、計画全般について「適当である」と認められたもので、今後は同計画に基づき、事業を進めていきます。

「只見町地域計画」のなかで利活用の方針が定められた公共施設は、只見町役場本庁舎施設と、旧只見中学校校舎および只見総合開発センター施設の三施設です。只見町地域計画審議会から、各施設の基本方針は次の意見を付し「適当である」と答申がありました。

- ①次世代の町民に過度な負担を求められないこと。
  - ②町民に理解を求め町民の声が反映されること。
- では、なぜ今三施設の新たな利活用が必要なのでしょう。各施設の基本方針も含めて、お知らせします。

#### ▼背景と経過

只見町の本庁舎は、只見町が誕生した昭和34年の翌年、昭和35年の完成以来、満51年が経過しており、平成20年度に実施した耐震診断の結果、本庁舎の古い建物部分については耐震強度不足が判明し、万一の場合に被害が生じる可能性がある建物として指摘されております。

また、建物本体および設備の老朽化など、現庁舎の抱える課題は大きく、本町にとって何ら

かの方法による庁舎整備は、避けては通れない行政課題となっております。

このようななか、現庁舎の状況や課題を踏まえ、平成21年度から本庁舎と関連性のある周辺施設を含めた施設整備のあり方について検討を開始しました。

平成21年度の取り組みとしては、只見町地域計画(仮称)準備検討委員会を設置し、計画策定を本格的に開始する前段作業として、町内外の方々の意見交換と懇談を行いました。

また、平成22年度から只見町地域計画審議会による調査および審議をいただくために、平成22年3月定例議会において只見町地域計画審議会条例案を提案し、町議会の議決をいただきました。

その後、庁内に目黒町長を本部長とする策定本部会を設置し協議を重ね只見町地域計画(案)を決定、只見町地域計画審議会に諮問したところです。

#### ▼目的

「只見町地域計画」は、域内の土地利用の合理化・適正化と資源の開発利用、適正な産業

配置を図るため、主要な公共施設の再配置を主眼とした総合的な計画として位置付けているものです。

また只見町地域計画審議会条例の所掌事務は、公共施設の再配置および利活用に関する事項について調査および審議するものとしていきます。

#### ▼これから

「只見町地域計画」の基本方針に基づいて、三施設の再配置および利活用にかかる事業を行なっていきます。

各施設の基本方針は、次ページのとおりです。皆様のご協力をお願いいたします。

#### ポイント

##### ○「諮問」てなに？

「一定の機関や有識者に対し、ある問題について意見を尋ね求めること」です。

##### ○「答申」てなに？

「意見を申し述べること。特に諮問機関が、諮問を受けた事項について行政官庁に意見を具申すること」です。

# ＊ ＊ 只見町地域計画における基本方針 ＊ ＊

## 各施設の基本方針について、お知らせします

### 只見町役場本庁舎施設

#### 【基本方針】

- ①現役場庁舎は、耐震強度が不足していることから現状での使用継続を断念する。
- ②現役場庁舎の耐震改修は、費用対効果が低いことから行わない。
- ③只見総合開発センター施設は、現役場庁舎と比較して延床面積が不足していることから、庁舎利用は行わない。
- ④旧只見中学校校舎は、現庁舎の増築部分や公用車庫との一体的利用が図られないため、庁舎利用は行わない。
- ⑤既存施設利用と新築庁舎整備について、将来負担も含めた試算を行った結果、費用対効果の高い新築による庁舎整備が望ましい。
- ⑥役場庁舎の位置は、現庁舎付近を基本とした大字只見地内が望ましく、現庁舎増築部分との一体的利用が図られる同一敷地内が有効である。
- ⑦上記①～⑥の理由により、現庁舎の同一敷地内に役場本庁舎を新築するものとする。



### 只見町地域計画 審議会委員名簿

(敬称略)

役職名	氏名	備考
只見町商工会長	菅家 俊一	会長
只見地区センター運営委員長	五十嵐辰男	副会長
元 学 校 長	赤塚 洋	
只見町区長	目黒 彰一	
只見町連絡協議会長	目黒 彰一	
会津みなみ農業協同組合	酒井 邦廣	
只見支店長		
(株)東邦銀行長	山口 哲	
只見支店長		
只見町観光まちづくり協会事務局	目黒 典子	
只見婦人会長	五十嵐理子	
朝日婦人会長	横山 圭子	
明和婦人会長	矢沢 千代	
只見町老人クラブ		
只見町地区連絡協議会長	鈴木 慎介	
只見町民生児童委員協議会長	山岸 秀弥	
只見町建設業協会	三瓶 吉夫	
只見町森林組合	矢沢 純也	
只見町商工会青年部長	目黒 道人	
明和青年団	佐藤 雅幸	
朝日地区センター運営委員長	小沼 武夫	
一 般 公 募	目黒 芳雄	

### 旧只見中学校校舎

#### 【基本方針】

- ①旧只見中学校校舎未利用部分の有効活用を図るため、新たな機能付加を行うものとする。
- ②国指定重要有形民俗文化財の適切な保存と展示による有効活用を図るものとする。
- ③上記、①、②を踏まえて、旧只見中学校校舎内に民具等の収納展示機能を追加し、只見町の貴重な財産を地域活性化に結び付けるとともに、近傍に位置する「ただみ・ブナと川のミュージアム」との相乗効果を生み出し、集客の増加を図るものとする。



### 只見総合開発センター施設

#### 【基本方針】

- ①只見総合開発センター施設については、大規模改修を伴う老朽施設であることから解体撤去するものとする。
- ②同一敷地内に住民利用を主とした施設を新築するものとする。
- ③新築施設は、可能な限り木材利用の促進を図る施設とする。



12月1日から地域福祉活動の担い手

# 民生児童委員が

# 新たに委嘱されました

民生児童委員の一斉改選により、新たに32名の民生児童委員と2名の主任児童委員が決定し、厚生労働大臣、福島県知事より委嘱状が交付されました。任期は平成22年12月1日から3年間です。

民生児童委員は、社会福祉の精神をもって、多様化する地域福祉の諸問題に取り組みます。

主任児童委員は児童福祉に関する事項を専門的に担当します。委嘱状の交付後、民生児童委員協議会総会が開催され、会長に飯塚孝子さんと、副会長に横山圭子さん、藤田希恵子さんが選出されました。

## 民生児童委員



会長 飯塚 孝子さん  
担当地区 坂田



副会長 藤田 希恵子さん  
担当地区 新町



副会長 横山 圭子さん  
担当地区 榑戸



目黒 より子さん  
担当地区 田中



矢沢 順子さん  
担当地区 原



目黒 ハナエさん  
担当地区 宮沢・上町



須佐 ひろみさん  
担当地区 叶津・入叶津・八木沢



鈴木 雅子さん  
担当地区 新屋敷



菅家 トヨ子さん  
担当地区 只見沖



原田 リエ子さん  
担当地区 蓮の原



小沼 伸子さん  
担当地区 沖・根木沢



菅家 喜佐男さん  
担当地区 黒谷入



目黒 由美子さん  
担当地区 館ノ川・黒沢



五十嵐 イミ子さん  
担当地区 塩沢・十島



三瓶 キクエさん  
担当地区 宮原・奇岩



五十嵐 アキ子さん  
担当地区 居平・久保



三瓶 秀樹さん  
担当地区 長浜・荒島



目黒 敬子さん  
担当地区 熊倉・亀岡・深沢



渡部 新喜さん  
担当地区 小川



渡部 悦子さん  
担当地区 小川下・荒井原



五十嵐 さつきさん  
担当地区 下福井



堀金 太一さん  
担当地区 上福井



木津 貞子さん  
担当地区 黒谷町



三瓶 由利子さん  
担当地区 大倉下



福崎 ミチ子さん  
担当地区 大倉上



星 郁子さん  
担当地区 二軒在家



目黒 良平さん  
担当地区 塩ノ岐



山内 ふち子さん  
担当地区 梁取



角田 たかえさん  
担当地区 小林下



馬場 修子さん  
担当地区 小林上



齋藤 陽子さん  
担当地区 全域



赤塚 洋さん  
担当地区 全域

## 主任児童委員



菅家 友徳さん  
担当地区 布沢下



菅家 まき子さん  
担当地区 布沢上

主任児童委員は、民生児童委員と連携して児童・家庭問題の相談などに取り組みます。

## 民生委員・児童委員とは

～お気軽にご相談ください～

地域に暮らす方々が安心して生活できるように、日々の暮らしの中で困ったり悩んだりしたことを相談できる相手です。地域の一人として皆さんと一緒に生活しながら、皆さんの立場に立つて心配ごとや困ったことを解決するお手伝いをします。

子育てのこと、学校のこと、介護のこと、経済的なことなど、皆さんの秘密は守りますので、お近くの民生委員・児童委員にお気軽にご相談ください。なお、民生委員は児童委員を兼ねていることから、民生児童委員とも呼ばれます。

## 主任児童委員とは

～子どもに関することを専門に担当～

主任児童委員は、子どもの福祉に関して次の事項について取り組んでいます。

- ①子どもの福祉に関係する機関との連絡調整
- ②児童委員の活動に対する援助・協力
- ③児童委員とともに乳幼児をもつ親の子育てに関する活動や、児童の福祉に関する活動

## 民生児童委員の職務

～あなたの心配ごとをお手伝いします～

民生児童委員・主任児童委員の役割を一言で言うと「援助を必要とする人が、その能力に応じた自立した生活ができるよう相談に乗ったりサービスの利用を支援したりする」ことです。

皆さんの立場で親身になって相談に乗ったり、心配ごとを解決するために関係機関との連絡調整役を務めます。

それらの活動をするために下記のような基本姿勢や基本原則、7つのはたらきがあります。

### 3つの基本姿勢

- **社会奉仕の精神** 社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努めます。
- **基本的人権の尊重** 個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守ります。また、人種、信条、性格、社会的身分または門地による差別的、優先的な取り扱いはいしません。
- **政党・政治的目的への地位利用の禁止** 職務上の地位を政党または政治目的のために利用しません。

### 3つの基本性格

- ◆ **自主性** 常に住民の立場に立ち、地域のボランティアとして、自発的、主体的な活動を行います。
- ◆ **奉仕性** 誠意をもち地域住民との連帯感をもって、常に謙虚に無報酬で活動を行うとともに、関係行政機関の業務に協力します。
- ◆ **地域性** 担当区域を基盤として、適切な活動を行います。

### 活動の3つの原則

- **住民性の原則** 自らも地域住民の一人であるため、住民に最も身近なところで住民の立場に立った活動を行います。
- **継続性の原則** 福祉問題の解決は時間をかけて行うことが必要なので、委員の交替が行われた場合でも、その活動は必ず引継がれ、常に継続した対応を行います。
- **包括・総合性の原則** 個々の福祉問題の解決を図ったり、地域社会全体の課題に対応していくために、その問題について包括的・総合的な視点に立った活動を行います。

## 民生委員・児童委員のはたらき

～7つのはたらき～

- 一、社会調査のはたらき（アンテナ的な役割）  
担当区域の住民の実態や福祉ニーズを、日常的に把握します。
- 二、相談のはたらき（世話的な役割）  
地域住民が抱える問題について、住民の立場に立ち親身になって相談に乗ります。
- 三、情報提供のはたらき（告知板的な役割）  
社会福祉の制度や福祉サービスについて、その内容や情報を住民に的確に提供します。
- 四、連絡通報のはたらき（パイプ的な役割）  
住民が個々の福祉ニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう、関係機関や団体等に連絡し、必要な対応を促します。
- 五、調整のはたらき（潤滑的な役割）  
住民の福祉ニーズに対応し、適切なサービスの提供が図られるように支援します。
- 六、生活支援のはたらき（支援的な役割）  
住民の求める生活支援活動を自ら行い、また支援体制をつくっていきます。
- 七、意見具申のはたらき（代弁的な役割）  
活動を通じて得た問題点や改善策についてとりまとめ、必要に応じて民生児童委員協議会を通じて関係機関などに意見を提起します。

### 問い合わせ

只見町民生児童委員協議会

事務局

只見町保健福祉課福祉班

電話 (八四) 七〇一〇

叙 勲

(故)本名清紀さんに旭日単光章



▲勲記を受ける本名保美さん

元町議会議長の(故)本名清紀さんへの旭日単光章の伝達式が、12月8日に只見町黒谷の自宅で行われました。目黒町長から勲記、勲章などが(故)本名清紀さんのご遺族、本名保美さんに手渡されました。

本名清紀さんは、昭和47年4月に只見町議会議員に初当選され、平成4年4月までの通算5期20年間在職されました。その間、町議会議長や副議長をはじめ、文教厚生常任委員長、土木常任委員会副委員長を務められ、只見町議会及び地方自治の発展、町の振興に誠実な姿勢をもって尽くされました。

また、町森林組合理事や副組合長として森林事業の振興や向上にも貢献されました。

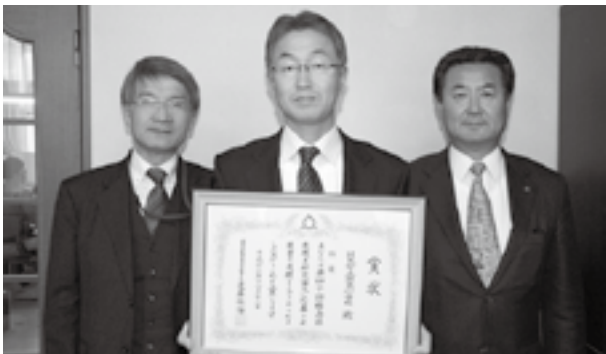
只見小学校が福島県教職員研究論文で特選

只見小学校(高橋吉博校長)の教育研究が、福島県教育委員会主催の平成22年度福島県教職員研究論文で特選となりました。特選は県内でも特に優れた団体2校、個人2名が受賞、只見小学校は団体の部門で選ばれました。

只見小学校は、国語科を研究主題とし、テーマの「子どものコミュニケーション能力を高める指導」について研究実践され、児童の自力解決の時間を「ひらめきタイム」として全学年に設定、個々の考えをもつため

の時間と場の確保に努め、また少人数で考えを交流する場「フレンドタイム」を設定し、児童の考えの相違点や共通点を確認したり自分の考えに自信をもたせたりする活動を展開されました。

さらに話したり聞いたりするための相手への思いやりを育て、豊かな人間関係を育む教育活動も展開されるなど、児童のコミュニケーション能力が向上した各種活動の成果が高く評価され、昨年の入選に続く受賞となりました。



▲賞状を手にする高橋校長と目黒町長(右)と齋藤教育長(左)

教育委員に辞令交付

12月定例議会において教育委員の選任について同意がなされました。新教育委員には、12月25日付けで小沼一弘さん(59歳・只見)が就任しました。

小沼さんの任期は、平成22年12月25日から平成26年12月24日までとなります。

就任にあたって小沼さんは、「只見町の教育発展のために頑張りたいと思います」と抱負を話されました。



▲新教育委員に就任された小沼一弘さん

学力向上の取り組み強化を考える  
町内拡大校長会

12月1日に教育委員会で拡大校長会が開かれ、町内保育所長から小・中学校長、只見高等学校長が出席し、教育長はじめ教育委員会事務局職員と、今年度の学力向上の取り組みと課題について協議されました。

その結果、教師の指導力向上、家庭学習の工夫、定期的な到達確認テストなどで学習の定着状況を常に把握、保護者の意識の啓蒙を図る、読書の重要性の確認、特に、読書の習慣づけについては保育所から行うことなどについて、共通認識を持ち取り組むことを確認されました。



▲学力向上について話し合われた拡大校長会



## ヨーロッパ文化から見た只見の自然と文化 特別講演会

講師に元フランス社会科学高等研究院教授のフランソワ・シゴー氏と、神奈川県文化研究所客員研究員の川田順造氏を迎え、特別講演会が12月10日、季の郷湯ら里で開かれ、町内外から約70名が出席されました。

具の違いを解説されました。続いてフランソワ氏は「ヨーロッパ文化から見た只見の自然と文化」について講演、農具のカマを例に、日本やカンボジア、フランスなどの使い方や形の違いを解説、また農民自らが情報を収集し調査研究された只見方式の民具整理は他に例がなく本場にすばらしい活動と話されました。只見の民具はモデル的存在として研究者に注目されているとのこと。



▲農具について説明されるフランソワ・シゴー氏

## 人権擁護委員に山内妙子さん



平成23年1月1日付けで山内妙子さん(梁取)が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害

が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、山内さんのほかに菅家達朗さん(黒谷)、藤田節子さん(只見)も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。

## 「雪むすめ」に委嘱状交付

第39回只見ふるさとの雪まつりを盛り上げてくれる「雪むすめ」2名が決定し、12月21日に目黒町長から委嘱状が手渡されました。

今年の「雪むすめ」は「五十嵐舞さん(黒谷)」と「目黒里美さん(熊倉)」です。二人とも「雪まつりの魅力を伝えられるよう頑張ります」と笑顔で話しました。よろしくお願ひします。



▲五十嵐さん(左)と目黒さん(右)

## 第28回南会津地方統一防火標語で梁取竹子さんが最優秀賞

南会津消防設備協会と南会津

地方広域消防本部が募集した第

28回南会津地方統一防火標語コンクールで、梁取竹子さん(大倉)の作品が最優秀賞に選ばれました。

【優秀賞】

「火遊びは

しまいさせまい 誘うまい」

星智恵子さん(小林)

「つなごうよ

心ひとつに 防火の輪」

栗城勝子さん(只見)

「最後まで

その火の始末 しつかりと」

菅家ミヨ子さん(只見)

【警報器

我が家の安心 みはり役」

山内美代子さん(梁取)



▲最優秀賞を受賞された梁取竹子さん

**只見スキー場オープン式  
シーズンのスタートに安全祈願**



▲献杯でオープンを祝う出席者

只見スキー場のオープン式が12月22日に只見スキー場のロッジで行われ、関係者が出席しました。(株)会津ただみ振興公社代表取締役社長の目黒町長が「冬のスポーツのレベル向上につながる唯一の施設です。安全な営業をお願いします」とあいさつし、五十嵐拓町議会議長が祝辞を述べた後、安全を祈願し目黒長一郎町体育協会長の音頭で献杯が行われ、関係者のテープカットで、オープンしました。

**2010・クリスマス会  
今年もサンタさんに会えたかな...**



▲こまどり会のクリスマス会

12月8日は社会福祉活動センター「やまびこ」で、「こまどり会」と「たんぽぽの会」の合同クリスマス会が行われ31名が参加しました。ボランティアの協力もあり、みんなでついた餅を食べながら、サンタさんからプレゼントをもらったり、ビンゴゲームや、ジャンケン大会などで参加者は楽しく親睦を深めました。



▲コアラクラブのクリスマス会

12月16日はコアラクラブのクリスマス会が行われ親子32組、68名が参加しました。クリスマスソングのハンドベル演奏を聞いたり、サンタさんからプレゼントを受け取ったりして楽しく過ごし、心に残る最高の思い出ができました。1月から2月にかけて、団子さしや節分豆まきなども行われる予定です。

## A 救急救命講演会 E Dの使い方を体験

12月20日に只見地区センターで、救急救命講演会が開かれ、約40名が出席しました。はじめに福島県立医科大学付属病院救急科部長「田勢長一郎」氏が「あなたにもできる救急救命の基本とドクターヘリ」と題し、ドクターヘリの要請とヘリが到着するまでに現地で行える応急処置の重要性などについて講演され、その後、出席者はA E D（自動体外式除細動器）の使い方を緊張しながら体験しました。



▲一般の人が使用できるA E Dについて学ぶ参加者

## 西 教育講演会 郷村教育長「加藤征男」氏を迎えて



▲人づくりについて語る「加藤征男」氏

12月14日に朝日小学校で、西郷村教育委員会教育長「加藤征男」氏を迎え、教育講演会が開かれ、保護者や先生など約60名が出席しました。「生きる力の育成と家庭の役割」と題し、学校生活には友達や先生とのかわりが重要なことや、ほめて育てることの大切さ、みんなで見守り育むためのプラス・ワンアクションなど、学校と家庭教育の連携で子どもを育てることについて講演されました。

## 歌 長浜おたのしみ会 や踊りに笑顔と拍手

長浜地区に在住の77歳以上の方19名が集会施設に集い、11月28日、おたのしみ会が開かれました。この日は、長浜の保育所児2名によるかわいい踊りや長浜にお住まいの方の歌などで楽しく過ごした後、みんなで餅を食べながら団らんしました。今年は、4月から12月の間に5回程度開かれるとのこと。参加された皆さんの生き生きとした笑顔が印象的でした。



▲山内翔さん（二軒在家）の落語を楽しむ参加者

## オ 喫茶キャンドル レンジ色の灯りにつままれて…



▲キャンドルの灯りにリラックスムードの来場者

12月23日に只見スキー場のロッジで喫茶キャンドルが行われ、約500個のキャンドルでレストランがオレンジ色の灯りにつまれました。やさしい炎の輝きは幻想的な雰囲気醸し出し、訪れた方々を魅了していました。特設ステージでは、オカリナやギター、ピアノ演奏なども披露され、普段は味わうことのできないひとときを過ごしていました。



# Anna先生のLife in JAPAN Vol.3

■ Anna・George  
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
2010年8月から只見町英語指導助手。  
小学校と中学校で語学の指導を行います。

今月(12月)は猫魔スキー場でスノーボードを初体験してきました。とても難しくて、何度も転び、体のあちこちが痛かったです。友だちの中で私だけが初心者でしたが、みんなが助けてくれました。スキー場がとても寒かったのに、あんなに体が熱くなるなんて思っています。たたくさん動いたなあと思えました。スノーモービルにも乗ってみました。スノーボードはまだあんまりうまくないけれど、もっと上手に滑れるようになりたいです。ねこま温泉にも行きました。スノーボードでたたくさん転んだあとの温泉は最高でした!温泉から見える景色も、雪が降っていたりして、

とてもきれいでした。

福島県のALTたちと東京デイズニerlandにも行ってきました。とてもすばらしく、たたくさんのクリスマス飾り付けがしてありました。クリスマスパレードを見たり、スペースマウンテンに乗って楽しみました。そのうち、デイズニースーにも行ってみたいです。

さらに今月(12月)は餃子とキムチの作り方を教わりました。とってもおいしかったのですが、キムチが辛くてちよつとしか食べることができませんでした。普段あまり辛いものは食べないのですが、日本のカレーは大好きです。

クリスマスにはイングランドに戻ります。イングランドの友だちや家族に会えることを楽しみにしています。この時期イングランドもとても寒く、水道管も凍ってしまい、仕事にも行けなくなる人が多いです。ひどく雪が降ることがほとんど無いので、大雪にイングランドの人々は慣れていないのです。

1月は、まだ見たことがない相撲を、東京に見に行くので、楽しみにしています。

(訳・只見中・福地)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹 秀一

### 「住民で守っていく地域医療」

あけましておめでとうございませう。平成19年に来て以来、只見で迎える正月も4回目になりました。そろそろ県より異動の通達が来る年数になり、この広報に僕が記事を書けるのも、もしかすると最後かもしれない。

今回は、住民で医療を守っていくことの重要性について話をします。昨年度より県の「地域医療再生計画」という事業にて、地域医療の建て直しが行われています。この会津地域にも25億円の予算が当てられ、再生事業を行っています。具体的な事業内容としては、①医師確保対策、②へき地支援(各病院間の電子カルテ化による情報共有など)、③へき地における救急・周産期医療の支援、などです。中でも興味深いのは、④「住民協働で地域医療を守る取組み」という項目があることです。住民の皆さんと座談会等を行い医療問題に関心を持ってもらい、みんなで地域医療を守っていく、という趣旨

だそうです。只見町は以前、医師がいなくなってしまう経験を持つ町です。その際に住民の皆さんが団結して医療を守ろうとした経緯もあり、医療に関しては他町村よりも関心は高いと思います。さて、最近の医療に対する皆さんの関心はいかがでしょうか?少し厳しい言い方をさせてもらおうと、やや平和ほけしていないかと心配です。

私が所長を任されて以来、診療所内の業務を見直し、保健・救急などの連携を強化してきました。今現在、只見町の医療は他町村より恵まれている状態になっています。当たり前のようにあるこの医療を継続していくには、実は住民の皆さんの力(意見・ニーズ・行動)が必要です。残念ながら今まで、住民の声を行政・診療所が充分に聞けておらず、また、そういった話し合いをする場がありませんでした。

今後、住民の皆さんが必要と思うことを行政・診療所を交えて話し合える場を作ることが必要です。し、町の医療計画・診療所運営がきちんと出来ているのかを見守る組織も必要です。

もちろん我々医療者側も皆さんの声を聞き、話し合いを行うことによつて、引き続き住民ニーズに即した医療を提供する義務があるのは言うまでもありません。只見町は現在、地元根付いた医師がいらないため(なぜでしょう?)、毎年県や大学の医師派遣を受けています。数年単位で医師が交代するこの状態はしばらく続いていくと思います。今後もしも若いう医師が只見町で生活しますので、住民の皆さんの協力で彼等やその家族を育てていくことも重要です。また将来を見据え、行政による、町産の未来の医師・看護師を育てていく事業も重要と考えます。

今後、「医療資源は天から降ってくるものではなく、自分たちで作っていくものだ」と意識すること、行政・医療・住民が一体となって医療を守っていくのではないかと考えます。将来、僕がどこかの病院で患者さんに対し「今、全国で評判の高い朝日診療所で働いていたんだよ」と、自慢できるような町・診療所になることを祈っています。

# 町史

## つとておきの話

198

神奈川大学非文字資料研究センター協力研究者

ルシーニュ・フレデリック

### 国際化の可能性



神奈川大学が2006年から開発し始めた「只見町インターネット・エコミュージアム」は、現在「只見町の風景」「只見町の屋根葺職人」「自然と暮らし」「只見町所蔵民具検索」の四つのコーナーから構成されています。「只見町の風景」では空間から只見の民俗に接触することができ、「自然と暮らし」では時間から只見の生業を一年間のサイクルを通して親しむことができます。「只見町の屋根葺職人」は一種の特別展です。「只見町所蔵民具検索」では民具カイドのデータベースを展示しています。

現在プロトタイプに過ぎない只見町インターネット・エコミュージアムは、これからどのような形で発展させるべきでしょうか。「只見町の屋根葺職人」コーナーを「特別展」コーナーに変えれば、屋根葺職人と並んでほかの常設展や臨時的な展示を追加することがいくらでもできます。「只見町所蔵民具検索」

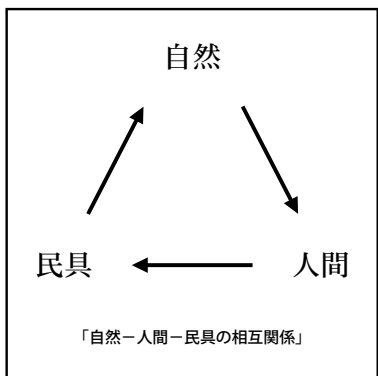
では、2,333点の国指定重要有形民俗文化財である民具コレクションを中心に掲載していますが、将来すべての民具カード(約9,000点)を展示することが可能です。さらに民具の検索方法を工夫すれば、民具検索はより分かりやすく面白くなるのが期待されます。「只見町の風景」にはスポットを増やせていければよいと思います。「自然と暮らし」では、写真やビデオなどのビジュアル的な資料をもっと提示する必要がありますでしょう。

民俗とは直接関係なくとも、只見町の社会変化を戦前からたどれるコーナーを新しく設けることも考えられます。たとえば、写真やインタビューなどの資料を基礎にして展示できたら、さらに面白くなるでしょう。私は小林の梁取源左衛門さんのインタビューに立ち会ったとき、その戦争体験に深く感銘しました。個人的な話ですが、私の祖父さんは第二次世界大戦中にレジスタンスに参加していました。名譽のある戦闘活動にかかわっていたと思うのですが、お

祖父さんからは戦争体験をほとんど聞いていません。戦闘のほんら話みたいなものはおさらです。つまり、戦争の記憶はあつたが、簡単に語れなかったと推測しています。只見に来て、源左衛門さんの戦争体験を聞いたとき、良心的な人が戦争体験を簡単に語れないことはフランスと日本に共通していると感じました。第二次世界大戦時、フランスと日本は敵国だったということがフランス人は今でも意識していますが、山間地出身のお祖父さんがどのような心境で戦争に参加したかという記憶を穏やかな表情で語られる源左衛門さんのお話とその顔は私にとって何ともいえない経験でした。これはぜひ海外、フランスに知らせなければ、と思いました。元敵国との平和は、このような経験に基づいて築かれると確信しました。

エコミュージアムの役割は、自然環境や生業の営み、つまり地域文化の背景のなかで歴史を語っていく方法が有意義なのです。それは実は民俗学が探った研究分野でもあります。

図式に示したように、民具は自然と人間とが一つの三角形の関係性をもっています。また、エコミュージアムの原点は環境学です。今まで民具が教えてくれる人間の文化的要素を強調しましたが、自然との関係性を忘れないで、自然首都・只見にふさわしいエコミュージアムを国際化していきたいと思っています。只見町の皆さまには大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。



▲カンゼンブーシをかぶった筆者

◀只見町を代表する語り部・梁取源左衛門さん



# 町民文芸



## 只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一 指導

洗ふほど白際立つと子が言へばてんじく天竺もめでまた敷布縫ふ

皆川 恒子

冬囲ひに今年最後の里帰りし来し方偲びひと夜眠れず

吉津 政枝

流れ込む落葉に堀の水溢れ物干す庭急ぎ引き摺る

目黒 富子

歌会終へ姪の車で紅葉の山々見つつ歌の師送る

五十嵐 英子

異状気象案じつつ来て豊作を喜び合へど米価下落す

渡部 ゆき子

十九年七か月にて知恵遅き子と広報紙配りを止めし

五十嵐 夏美

落葉踏み山より下り来し羚羊は声を上げたる我に振り向く

馬場 八智

水溜りし膝の痛みは癒えずして師走の部屋を膝擦りてゆく

古川 英子

逝きし人話題にすれば次つぎに知りたる顔の浮かびくるなり

齊藤 ちひろ

雪降るを気遣ひ大根採り置けば暖かくして早萎びゆく

渡部 ヨリ子

粗大ごみにいよよなりしか老い夫と娘の掃除避けつつ笑ふ

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

十二月例会

目黒十一 指導

大根煮る減塩醤油油棚の上

一穂

落葉して句碑の見え来し蚶満寺

敦子

牛蒡掘る空に鳶舞う影二つ

父の忌や三日つづきの冬日和

礼

色鳥にくるりと背中むけられし

冬瓜の青ごろごろと山眠る

修一

母折りし鶴を並べて冬の暮

冬川の日向日影と流れ行く

一灯

池普請鯉の数など定まらず

鶏頭の種取る妻の手のくぼみ

邦男

三猿の庚申塚や冬木立

委託する除雪費用の算段に

又壺歩

懸命に懸命に生き歳の暮

川岸に佇む鷺や冬茜

峽にまた更地増えけり冬満月

吉児

冬日亨け齧む牛のみみげ透け

隆堂

新蕎麦や帯戸座敷に漆塗り膳

子の家が終の住居と年の暮

笑羊

野生色留めておりし熊の肉

具だくさんの味噌汁椀や冬に入る

康女

菊摘んで菊の色香に包まれり

暖かき枯葉の道を走りけり

リウコ

木の葉散る小瀧や光る水しぶき

一片の落葉残らず掃しき庭

恒夫

野良猫の腰を低くめる年の暮

逃げることなど許されず煤払う

洋子

行進曲口づさみつつ年の暮

鷺ひよろり強風の吹く兆あり

# 今月のお知らせ

## RECRUITMENT

### 募集

#### 雪と遊ぶうーすノー フェスタin会津レク リエーション公園

会津レクリエーション公園で  
スノーフェスタが開かれます。

会場では、「雪合戦」「スノー  
シュー体験」「雪で作るゼリー  
体験」などを行います。無料体  
験コーナーや地場産品の直販も  
あります。このイベントで魅力  
ある冬の会津を満喫してみませ  
んか。皆さまの参加をお待ちし  
ております。

#### ●とき

平成23年2月20日(日)

#### ●ところ

会津レクリエーション公園

(会津若松市湊町大字赤井地  
内)

#### ●開催概要

#### ▽雪合戦

電話 番号	
総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
	☎ 84-2101
こぶし苑	☎ 84-7005
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

#### ①種目

一般の部・ジュニアの部

#### ②参加費

どちらの種目も一人700  
円

#### ③チーム

1チーム7人+補欠2名

※補欠がない場合も可  
す。

※補欠がない場合も可  
す。

※補欠がない場合も可  
す。

#### ④開始時刻

受付8時半～  
開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

開会式9時～

#### ▽雪で作るゼリー体験

①参加費 一人300円

②開始時刻 9時～随時受付

③その他

ホットコーヒー販売、当日

参加可能(雪で作るゼリー

体験は数量限定のため無  
くなり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

なり次第終了とします)

#### ▼問い合わせ

会津若松建設事務所

企画調査課 福島まで

〒965-1850 会津若松

市追手町7-5

☎ 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459

メール

fukushima\_hiroyuki\_01@

pref.fukushima.jp



#### NHK学園受講者

NHK学園では、生涯学習通  
信講座の受講者を募集していま  
す。まずは、無料の案内書をい

## 税 今月の納期

1月25日までに納めましょう

●町県民税(4期)

●固定資産税(4期)

●農集排使用料(1月分)

●後期高齢者医療保険料(6期)

請求ください。

#### ●募集内容

▽生涯学習通信講座

NHK学園には、趣味・教養

から語学・資格まで、幅広いジャ

ンルの講座が200コース以上

あります。通信講座で新しい趣

味・スキルを身につけてみませ

んか。

#### ●受講期間

3ヵ月～1年

(講座によって異なります)

#### ●募集対象 一般

●申込方法

ご請求により案内書を送付。

電話・FAX・ホームページか

ら申し込み可能。

#### ●募集期間

通年申し込み受付

#### ▼問い合わせ

NHK学園

☎ 042-572-3151

案内書請求フリーダイヤル

☎ 0120-06-8881

ホームページ

http://www.n-gaku.jp/life

## 農業者をめざす

### 奨学生

町では、将来只見町で農業に従事するため農業後継者育成を目的とする学校に在学する者に、その修学に必要な資金の一部を貸与する制度を設けています。

希望者は、お問い合わせください。

### 対象者

福島県立農業短期大学校、財団法人日本農林教育協会鯉淵学園に在学している者。

※進学予定者も受け付けます。

※国または他の団体から同種の奨学資金の貸与等を受けていないことが条件となります。

### 貸与額

月額 10万円以内

### 奨学資金の返還及び免除規定

学校を退学した場合や卒業後に農業に従事しない場合は返還義務が生じます。ただし、卒業後直ちに町内において農業に従事し、その後10年以上農業に従事した場合は返還が免除されます。

### 応募方法

奨学資金貸与申請書（様式第1号）に、住民票、履歴書、健康診断書並びに申請者が在学する学校長が発行した入学以後の学業成績表、学業及び人物に対する所見を記載した推薦書を添

付し、産業振興課農林班に提出してください。  
 ※奨学資金貸与申請書を希望される方は産業振興課農林班までご連絡ください。

●応募期限  
 平成23年2月25日（金）必着  
 ▼問い合わせ  
 産業振興課農林班  
 ☎0241-8215230

## 第39回 只見みるさとの雪まつりプログラム

### 2月11日（金）

19：00 大雪像ライトアップ  
 （前夜祭）

### 2月12日（土）

9：45 自衛隊音楽パレード  
 10：00 開会式（福餅まき）  
 （ゆきんこ市オープン）  
 10：30 梁取太々神楽  
 11：20 自衛隊音楽隊雪中演奏  
 （約5曲）  
 12：00 郷土芸能発表会  
 （各団体出演7団体以内）  
 13：30 ゲームイベント  
 14：30 もとやまレース（丸太早切り）  
 16：30 ゲームイベント  
 17：30 雪中大神輿・  
 スノーキャンドル点火  
 18：30 厄払いの儀、おんべ  
 20：00 祈願花火大会  
 21：00 第1日目終了

### 2月13日（日）

10：00 天装戦隊ゴセイジャーショー  
 （ゆきんこ市オープン）  
 11：00 郷土芸能発表（各団体出演7団体以内）  
 13：00 大相撲どすこいふれあいコーナー  
 14：00 ゲームイベント  
 15：00 天装戦隊ゴセイジャーショー  
 16：00 ゲームイベント  
 17：00 カラオケ大会・  
 スノーキャンドル点火  
 18：30 雪俵引き合戦  
 19：30 天領只見仙獄太鼓  
 20：00 祈願花火大会  
 （自然首都歓迎花火・町民花火打上）  
 21：00 第2日目終了

### （サブ会場）

#### 只見スキー場【2月12日（土）～13日（日）開催】

10：00～15：00 スノーモービル体験  
 13：30 スノーシュー体験

#### 只見地区センター【2月12日（土）開催】

14：00 只見音研ショー

その他、ミニ雪像コンテスト・フォトコンテストなど楽しいイベント盛りだくさん!

## 就学する学校の変更要件について

就学する小・中学校は、「只見町公立学校の通学区域に関する規則」によって指定されていますが、保護者からの申請によって通学区域外の学校に就学することが可能となっています。変更の具体的な要件について下記のとおりお知らせいたします。

### ■指定要件の変更

区分	理由
住所移転による理由	・学年途中の転居等により指定校が変更になるため、学期末まで現在の学校に通学したい場合 ・家の新築など転居が明らかであるためあらかじめ転居先の学校に通学したい場合
身体的な理由	・肢体不自由や病弱等の理由により通学に配慮が必要な場合
教育的な配慮の理由	・いじめや学校生活の不適応など、やむを得ない事情により指定された学校を変更したい場合
その他の理由	・その他教育委員会がやむを得ないと認めた場合

### ■手続き

指定した様式により只見町教育委員会に申請します。なお、教育委員会（☎82-5320）までお問い合わせください。

## 町長室日誌

〈12月分〉

- 1日 全国町村長大会
- 2日 簡易水道整備促進全国大会、全国山村振興連盟通常総会、国保制度改善強化全国大会、全国観光地所在町村協議会総会
- 3日 水力交付金確保及び水源地域振興対策総決起大会、同決議事項に係る国会議員等への要請活動
- 5日 只見婦人会との懇談会
- 6日 民生児童委員協議会委嘱状交付式、庁議（議案検討）
- 7日 滝調整池堆砂対策連絡協議会定例会、実施計画ヒアリング
- 8日 故本名清紀氏叙勲伝達式、町地域計画審議会会長来庁、商工会長来庁
- 9日 庁議（一般質問検討）
- 10日 南会津地方振興局長来庁
- 11日 奥会津元気回復協議会主催「蘇れ伊南川フォーラム」
- 13日 社会資源再生協議会理事長来庁
- 14日 只見町議会12月定例会開会（～17日）
- 21日 南会津警察署新庁舎落成式、雪まつり「雪むすめ」辞令交付式
- 22日 只見スキー場オープン式
- 24日 新教育委員辞令交付式
- 27日 農業委員長米価下落支援策要望来庁、奥会津五町村活性化協議会役員会、只見川電源流域振興協議会役員会
- 28日 仕事納め式（診療所、こぶし苑外福祉関係、役場、西部環境衛生組合）



# 町民の消息

(12月1日～12月31日届出分・敬称略)

## ■お誕生おめでとうございます

渡部 悠希(男/賢史・由紀子) 福井

## ■おくやみ申し上げます

酒井 照好	72才	亀岡
栗城 喜六	98才	亀岡
須佐 ミサホ	93才	黒谷
矢沢 ユキ子	90才	福井
長谷部 工ツ	91才	長浜

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成22年12月1日現在

人口	4, 921 (-10)
男	2, 347 (-4)
女	2, 574 (-6)
世帯数	1, 865 (-2)
高齢化率	41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 7 出生 6 死亡 16



▽新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。今年一年が町民の皆様、只見町そして町に関係される皆様にとつて輝かしい一年でありますことをお祈りいたします。▽今年の只見の冬は12月のクリスマス寒波により一気に雪景色となり1月に入っても雪の降る日が多く積雪も平年並み?なのでしょいか。皆さん、除雪作業は気をつけて行いましょう。▽雪まつりまで1ヵ月を切りました。楽しいイベントが盛りだくさん、雪むすめも待っていますよ。必ず来てくださいね。

## あとがき

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

地区センター長  
馬場 博美

只見地区センター  
図書室 ☎ 82-2141

# おすすめ新着図書

## ★再生



石田衣良/著 (角川書店)

妻を自殺で喪い息子を一人で育てるサラリーマン。家族を捨て、後悔の念にさいなまれるラジオディレクター。定年退職後、新たにタクシー運転手を目指す元トラック運転手。前触れもなく彼から別れを切り出されたキャリアウーマン。不況下で中小の広告代理店に入社し不安を感じる新入社員。単調な日々の仕事にうんざりする契約社員…。彼らの平凡な日常に舞降りた小さな奇蹟とは?感動作『約束』に連なる、現代の心の渇きを潤す短編集。

## ★星空ウォッチング



沼澤茂美・他/著 (新星出版社)

誰でも簡単に発見できるやさしい『星座の探し方』。初心者にも楽しめる『見逃せない天体』『星座にまつわる神話』。どこでも使える!『都会の空』と『郊外の空』の2景観付き。

## ★朝5分ヒミツの美ワザ55



新見千晶/著 (主婦の友社)

「3ステップでできる超デカ目マジック」、「うるうる&つやつや素肌の作り方」、「一瞬で効くクマ・にきび・シミ・むくみ対策」、「速攻“ふんわりヘア”&“3Dヘア”の作り方」などなど、プロがメイクの現場で使うヒミツのテクニクを一挙に55個紹介。明日の朝からさっそく使えるワザ満載だから、あつという間に「完璧顔」ができあがります。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

## オオハクチョウ

カモ目カモ科ハクチョウ属／大白鳥

白鳥が滝湖に飛来して28年になります。はじめは3羽でしたが、いまでは70～90羽が毎年、只見で冬を過ごします。ここではオオハクチョウとコハクチョウの2種類の白鳥が越冬し、そのほかにも、カワアイサ、ホオジロガモ、トモエガモ、ヨシガモといった珍しい水鳥も見ることができます。山紫水明の滝湖に、何世代にもわたってやってくる白鳥は、只見の冬の風物誌となっています。



### 特別展示

○只見の民具とその素材展 平成23年2月28日(月)まで開催中！

### 今後の予定

○第10回ブナセンター講座「只見の自然から生まれた民具」  
講師：新国勇さん 日時：1月16日(日)午後1時30分～3時  
場所：ただみ・ブナと川のミュージアム・セミナー室

### お知らせ

○ただみ・ブナと川のミュージアムは冬季も開館しています。  
休館日は、毎週火曜日です。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## イベントカレンダー

1月

15日(土)

「冬の郷土食フェア」

スノーアドベンチャー

23日(日)

「只見毎日杯GS大会：只見スキー場」

2月

12・13日(土・日)

「第39回只見ふるさと雪まつり」  
…JRR只見駅前広場

14日(月)

「冬の郷土食フェア」  
スノーアドベンチャー

▼お土産に豆類やそば粉、打ち豆などが喜ばれています。少量からでも販売できます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時